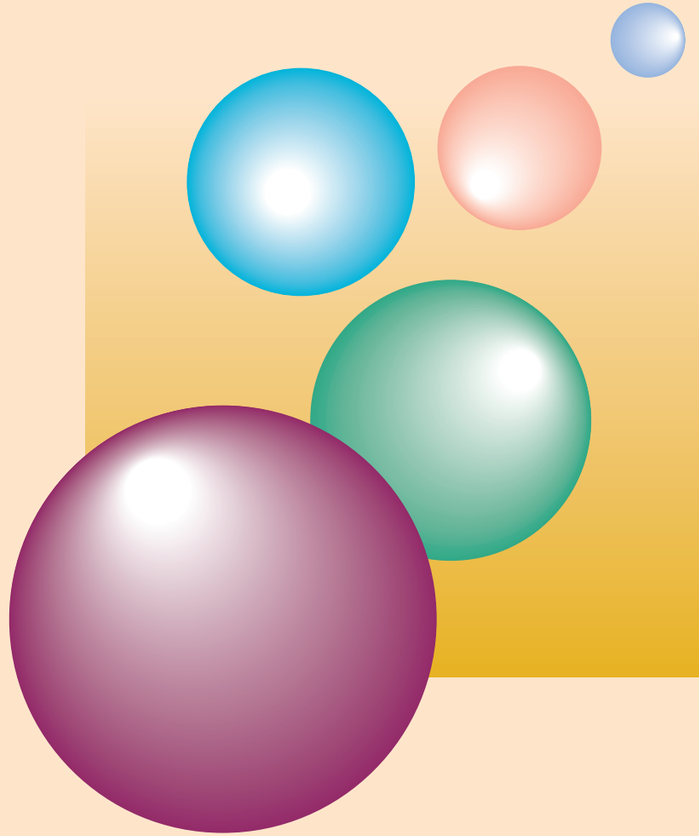
OILES

第66期中間報告書

平成28年４月１日～平成28年９月30日



ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK
UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

OILES オイレス工業株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、格別のご高配にあずかり、厚くお礼申しあげます。

さて、当社第66期第２四半期（平成28年４月１日～平成28年９月30日）の営業概況につきましてご報告申しあげます。

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や金融緩和策等を背景に緩やかな回復基調が続いておりますが、円高、株安の進行や中国をはじめとする新興国の経済成長の減速など景気を下押しするリスクが強まり、先行き不透明な状況が続いております。このような環境にあって当企業グループは、お客様のニーズに迅速かつ的確に対応することにより、国内メーカーからの受注獲得に努めるとともに、欧米、中国、インド、アセアンを重点としたグローバル展開を推進してまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は277億36百万円（前年同期比5.5％減）、営業利益は22億34百万円（前年同期比7.7％増）、経常利益は20億58百万円（前年同期比7.8％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億２百万円（前年同期比23.3％減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

軸受機器

オイルレスベアリングは無給油あるいは給油の回数や量を大幅に減少させることができ、省資源・環境への配慮の観点から自動車をはじめ各種産業機械などに幅広く採用されております。

一般産業機械向け製品は工場設備向け製品の大口受注がありましたが、建設機械や製造装置向け製品等の受注が減少いたしました。自動車向け製品は海外における自動車メーカーとの取引拡大を背景に順調に推移いたしましたが、為替の影響を受け売上は僅かながら前年を下回りました。

この結果、軸受機器の売上高は214億22百万円（前年同期比2.6％減）、セグメント利益は24億95百万円（前年同期比3.1％減）となりました。

構造機器

長年培った振動制御に関わるダンピング技術を応用展開して開発した免震・制震の技術は人命、社会的財産や都市機能などを地震から守ります。

橋梁および建物向け製品ともに物件の減少・凍結・先送りが依然として継続しており、売上は減少いたしました。他方、利益面においては事業環境に即した費用構造の見直しを行った結果、利益確保には至らなかったものの、顕著な改善が見られるようになりました。

この結果、構造機器の売上高は32億円（前年同期比18.3％減）、セグメント損失は１億97百万円（前年同期はセグメント損失５億47百万円）となりました。

建築機器

風、太陽光を自在に操り、快適で安全な室内環境を実現する建築機器製品は高層ビル、公共施設、病院や住宅などあらゆる建築物に採用されております。

主力製品であるウインドーオペレーターの新規受注や自然換気装置が減少した結果、売上は前年を下回り、また利益確保にも至りませんでした。

この結果、建築機器の売上高は25億39百万円（前年同期比10.1％減）、セグメント損失は70百万円（前年同期はセグメント利益46百万円）となりました。

当期の中間配当金につきましては、株主の皆様への安定的かつ継続的な配当という基本方針を踏まえ、１株につき25円を実施させていただきます。

今後の見通しにつきましては、顧客視点を第一に、グローバル市場への展開を強化してまいります。

軸受機器事業は、一般産業機械市場および自動車関連市場ともに海外重視の布陣に変更し、販売拡大に注力してまいります。

構造機器事業は、従来の橋梁、建物事業に加え、既存橋梁のメンテナンス物件の獲得、BCP関連用途としての工場内設備やプラント向け、戸建住宅向けなどの新規領域の開拓により販売拡大に注力してまいります。

建築機器事業は、ウインドーオペレーターのメンテナンスおよびリニューアル物件の獲得、省エネに有効な外付ブラインド、自然換気装置の販売拡大に注力してまいります。

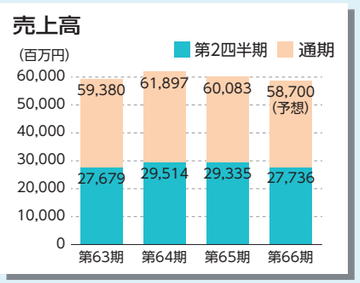
これらの施策により、当期におけるグループ全体での売上高は587億円、営業利益は52億５千万円、経常利益は51億円を見込んでおります。

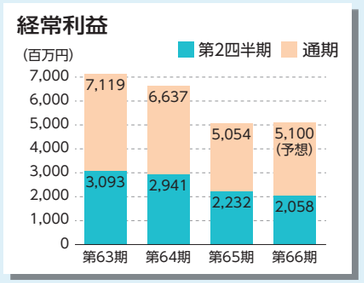
株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

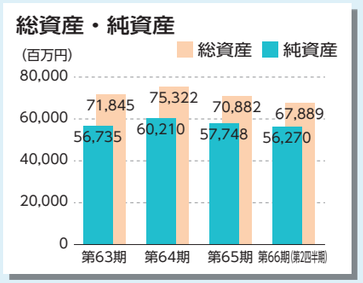
平成28年12月

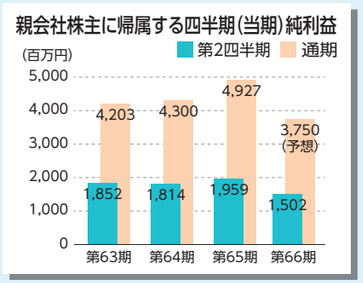
代表取締役社長　岡山俊雄

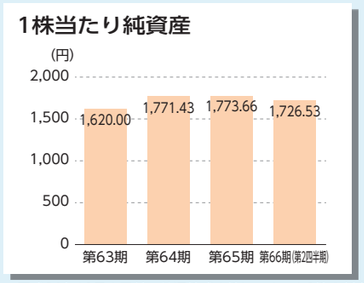
営業成績および財産の状況の推移（連結）

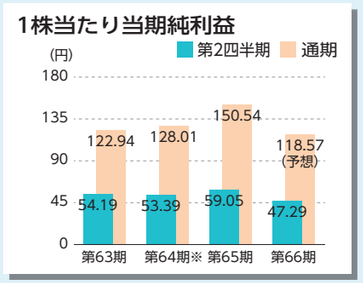












※平成26年10月１日付で普通株式１株につき、1.2株の割合で株式分割を行いましたが、１株当たり純資産、１株当たり当期純利益は、第63期の期首に当該株式分割が行われたものとして算出しております。

四半期連結貸借対照表

（単位　百万円）

科目＼期別	前期末（平成28年３月31日）	当第2四半期末（平成28年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,806	13,451
① 受取手形及び売掛金	17,080	15,517
有価証券	2,788	2,376
商品及び製品	3,533	3,042
仕掛品	2,558	2,686
原材料及び貯蔵品	2,081	2,023
その他	1,639	1,684
貸倒引当金	△98	△84
流動資産合計	42,389	40,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,756	7,982
機械及び装置（純額）	5,366	4,755
土地	3,778	3,740
その他（純額）	2,417	2,679
有形固定資産合計	20,318	19,158
無形固定資産	1,159	973
投資その他の資産		
投資有価証券	4,928	4,931
退職給付に係る資産	112	116
その他	1,992	2,028
貸倒引当金	△18	△16
投資その他の資産合計	7,014	7,059
固定資産合計	28,493	27,191
資産合計	70,882	67,889

科目＼期別	前期末（平成28年３月31日）	当第2四半期末（平成28年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,893	4,972
未払法人税等	546	410
賞与引当金	955	1,043
役員賞与引当金	98	48
その他	2,666	2,561
流動負債合計	10,160	9,037
固定負債		
長期借入金	234	146
役員退職慰労引当金	96	85
退職給付に係る負債	747	577
その他	1,894	1,772
固定負債合計	2,973	2,581
負債合計	13,134	11,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,585	8,585
資本剰余金	9,479	9,479
利益剰余金	43,259	43,962
自己株式	△7,553	△7,478
株主資本合計	53,770	54,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,341	1,206
② 為替換算調整勘定	1,785	△349
退職給付に係る調整累計額	△594	△509
その他の包括利益累計額合計	2,532	347
非支配株主持分	1,445	1,374
純資産合計	57,748	56,270
負債純資産合計	70,882	67,889

POINT①　受取手形及び売掛金

売上債権の回収が進んだことにより、1,562百万円の減少となりました。

POINT②　為替換算調整勘定

前期末比で円高が進行した結果、外貨建て資産の換算額が減少し、△349百万円となりました。

四半期連結損益計算書

（単位　百万円）

科目＼期別	前第2四半期（平成27年４月１日から平成27年９月30日まで）	当第2四半期（平成28年４月１日から平成28年９月30日まで）
① 売上高	29,335	27,736
売上原価	18,975	17,701
売上総利益	10,360	10,034
販売費及び一般管理費	8,287	7,800
② 営業利益	2,073	2,234
営業外収益		
受取利息	23	27
受取配当金	82	55
受取保険金	56	7
デリバティブ評価益	—	149
その他	86	37
営業外収益合計	250	278
営業外費用		
支払利息	15	11
為替差損	7	425
デリバティブ評価損	51	—
その他	16	16
営業外費用合計	91	454
経常利益	2,232	2,058
特別利益		
投資有価証券売却益	235	130
関係会社株式売却益	298	—
特別利益合計	534	130
特別損失		
固定資産処分損	16	10
契約解除損	—	—
投資有価証券評価損	1	68
特別損失合計	17	79
税金等調整前四半期純利益	2,749	2,109
法人税等	720	535
四半期純利益	2,028	1,573
非支配株主に帰属する四半期純利益	69	71
③ 親会社株主に帰属する四半期純利益	1,959	1,502

POINT①　売上高

軸受製品の海外売上は増加しましたが、円高により打ち消され、構造製品は市場環境から減少、全体では前年同期比でマイナスとなりました。

POINT②　営業利益

経費節減に努めました結果、若干の増益となりました。

POINT③　親会社株主に帰属する四半期純利益

営業外損益のマイナスおよび特別利益の減少のため、減益となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位　百万円）

科目＼期別	前第2四半期（平成27年４月１日から平成27年９月30日まで）	当第2四半期（平成28年４月１日から平成28年９月30日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,265	3,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△700	△1,521
財務活動によるキャッシュ・フロー	△974	△913
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	△671
現金及び現金同等物の増減額	2,549	29
現金及び現金同等物の期首残高	11,196	15,369
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	2	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,748	15,398

製品トピックス

軸受機器

新規需要創出のため他社との協業を推進

今回ご紹介するのは、日本ベアリング株式会社様と共同で開発した「エアスライドユニット」です。この製品は、同社のスライドレールに当社のエアベアリングを融合させたものです。空気で浮上させたテーブルがレール上を移動するため、従来のころがりタイプでは得られなかった超高精度および非接触による静音性と摩擦係数を限りなくゼロに近づけることを可能にしました。

「エアスライドユニット」は業界初の製品であり、その構造は既存のスライドレールを利用することができるため、コストが抑えられ、取り付けも容易にできます。

当製品は、6月の東京機械要素技術展、10月の関西機械要素技術展に参考出品し、お客様から多くの反響をいただきました。

当社エアベアリングの特長

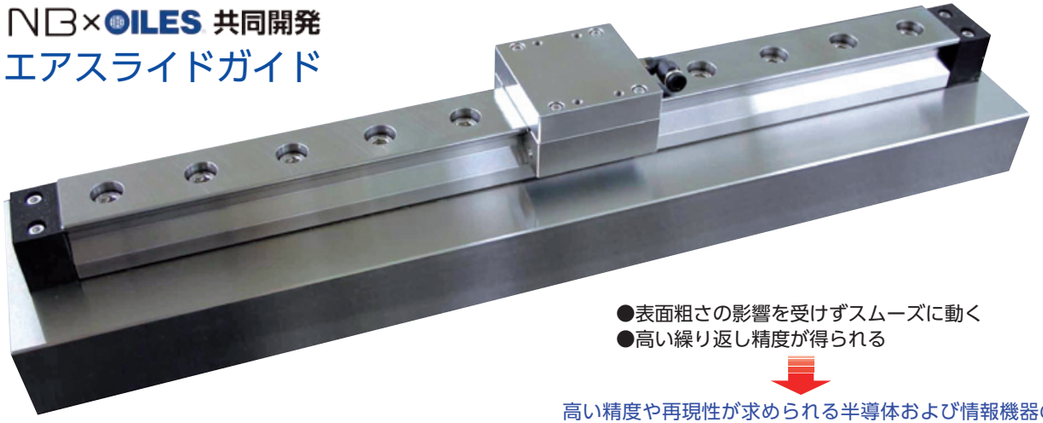
■ **高機能**
独自の多孔質化技術により、高負荷能力と高剛性が発揮されます。

■ **最適設定**
流量の調整が容易にできることに加え、バックメタルと多孔質を一体構造としているためコンパクト設計が可能になります。

■ **安全性**
エアベアリング部は当社のオイルレスベアリングを使用しているため、万一の個体接触の状態でも焼き付きにくく、安全性に優れています。

■ **環境**
発塵がないので、クリーンルームでの使用にも適しています。

NB×OILES 共同開発
エアスライドガイド



●表面粗さの影響を受けずスムーズに動く
●高い繰り返し精度が得られる

高い精度や再現性が求められる半導体および情報機器の製造装置、検査装置などへの採用が期待される。

構造機器

免震装置交換工事に当社の技術力が貢献しています

2015年7月、国土交通省は「免震材料の交換改修工事中の建築物の安全性のガイドライン」を作成し、交換改修工事の計画、実施にあたっての参考とするよう通知を出しました。

この通知を受け、当社では安全かつ合理的な交換工事の実現にいち早く対応すべく、当社独自の技術による新たなすべり装置を開発いたしました。

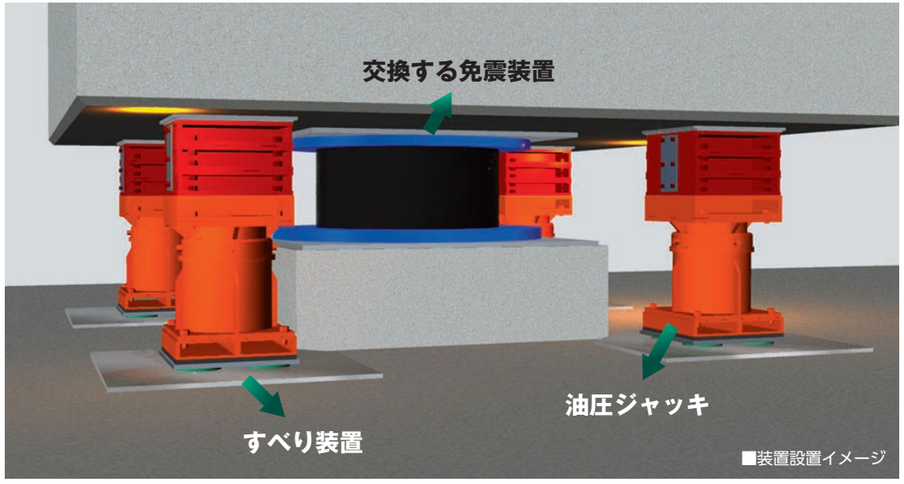
免震装置の交換には、一般的に建物を油圧ジャッキで持ち上げ、既設の免震装置にかかる荷重を抜いたのち引き出し、新しい免震装置を設置します。

このときに地震が発生すると、油圧ジャッキが揺れて転倒し、大事故につながるおそれがありますが、当社のすべり装置を油圧ジャッキの下に設置することで、建築物全体の免震性能を担保することができます。

建物の免震機能を維持しながら改修工事の安全を図ることができる当社のすべり装置は、その技術が評価され採用事例が増えてきております。

また、この技術は、免震装置の交換のみならず、レトロフィットと呼ばれる既設建物の免震化工事にも適用できますので、わが国が誇る歴史的建造物をレガシー（遺産）として残すことに大きく貢献できることが期待されます。

当社は、新設既設を問わず、建物・橋梁などの社会インフラの地震による不安を減らすべく今後も安全・安心を提供してまいります。



■装置設置イメージ

製品トピックス

建築機器

住宅向外付ブラインド『ブリイユＪモデル』が新発売されました

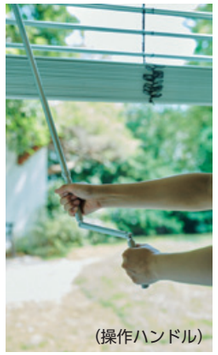
住宅向け外付ブラインドの『ブリイユＪモデル』を8月1日から新発売しました。

この『Ｊモデル』はフランス語で「楽しむ」という意味の「Jouir（ジュイール）」から名付けています。

当社は、これからも日本の四季折々の自然を楽しむことができる快適な居住空間をご提案いたします。

ブリイユＪモデルの主な特徴

■ルーバー収納ケースをなくすことでスッキリしたデザインを実現しました。
■室内側の操作ハンドルで、開閉操作ができます。
■建物外部に後付けできるので、リフォームにもおすすめです。



（操作ハンドル）

■ブリイユＪモデル

BRIIL 外付ブラインド『サンシャディ』はBRIIL（ブリイユ）として生まれ変わりました

■ブリイユＪモデル（特注色仕様）

外付ブラインドは環境先進国ではすでにスタンダードな存在です。その外付ブラインドとともに送る快適な暮らしを、日本でもたくさんの方に体感していただきたいという想いから、外付ブラインド『サンシャディ』を「BRIIL（ブリイユ）」に変更いたしました。

この「BRIIL（ブリイユ）」は、フランス語で「太陽を砕く」という意味のBrise soleil（ブリーズ・ソレイユ）からつくられた名称です。近代建築の巨匠、ル・コルビュジェは、室内に入る陽射しを和らげて上手に暮らすことができるように造った建物をBrise soleil（ブリーズ・ソレイユ）と呼び、現在では日照調整装置の総称としてもブリーズ・ソレイユは世界中で親しまれています。

当社は、ル・コルビュジェが生み出した自然の光をコントロールするブリーズ・ソレイユの考え方を進化させ、お客様の様々なご要望やライフスタイルに対応できる製品をこれからも生み出していきます。

「BRIIL（ブリイユ）」が家族それぞれの生活シーンに寄り添い、四季を通じて幸せな住まいづくりのお手伝いをいたします。

（ブリイユに関するお問い合わせ先：http://www.briil.com/contact.html）

会社の概要（平成28年９月30日現在）

商　　号	オイレス工業株式会社 OILES CORPORATION
設　　立	昭和27年３月11日
資 本 金	85億8,500万円
本　　社	神奈川県藤沢市桐原町８番地 （登記上の本店：東京都港区港南一丁目２番70号） ホームページアドレス http://www.oiles.co.jp/
従業員数	1,101名
営業品目	◎軸受機器：オイルレスベアリング、その他 ◎構造機器：免震・制震装置、支承、その他 なお、建築機器（ウインドーオペレーター、環境機器、住宅用機器、その他）につきましては、当社子会社であるオイレスECO株式会社で事業をおこなっております。

株式の状況

発行可能株式総数	153,200,000株
発行済株式の総数	36,300,505株
株主数	5,274名

役　　員

【取締役】

代表取締役社長	岡山　俊雄
代表取締役副社長	前田　　隆
取締役相談役	内田　隆彦
取締役	飯田　昌弥
取締役	須田　　博
取締役	田邊　和治
取締役	川崎　　清 ※
取締役	村山　眞一郎 ※

【監査役】

常勤監査役	岩倉　　勝
常勤監査役	池永　雅良
監査役	丹治　詳元 ※
監査役	君島　得宏 ※

【執行役員】

社長執行役員	岡山　俊雄
副社長執行役員	前田　　隆
常務執行役員	飯田　昌弥
上席執行役員	須田　　博
上席執行役員	田邊　和治
上席執行役員	中丸　　隆
上席執行役員	林　　洋一郎
上席執行役員	稲葉　一志
執行役員	高崎　博史
執行役員	奥津　清文
執行役員	山元　和宏
執行役員	宮崎　　聡
執行役員	三谷　　修
執行役員	宇野　正名

（※社外役員）

ホームページのご案内

当社では、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向をよりわかりやすく紹介しております。
当社をご理解いただくためにも、ぜひ当社ホームページへアクセスください。

ホームページアドレス
http://www.oiles.co.jp/

株主メモ

事業年度	毎年４月１日～翌年３月31日
剰余金の配当基準日	３月31日（中間配当をおこなう場合は９月30日）
定時株主総会	毎年６月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目２番１号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行　証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル　0120-288-324 （土・日・祝日を除く　９：00～17：00）
各種手続お取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ＊トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続をおこなっていただく必要があります。

公告方法　電子公告（http://www.oiles.co.jp/）によりおこないます。
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載しておこないます。